

常設展をじっくり見よう

からくりを活用した機械を常設展示で見ることができます

A ガラ紡機 [繊維機械館]

江戸時代の糸紡ぎは、手回しの糸車でしたが、明治時代に発明されたこの機械では、糸の太さを自動で調整できるようになりました。

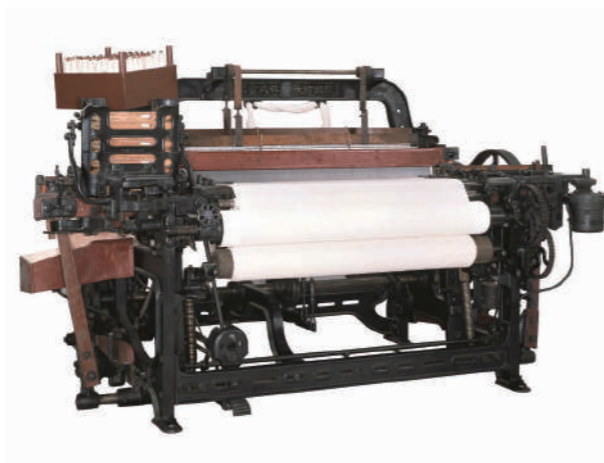
材料の綿の入った筒が回転して糸に撚りを掛けます。撚りが十分かかると、筒が持ち上がり回転が止まって、引き伸ばしに切り替わります。筒の底にある羽根が回転を断続する役目をしています。



B G型自動織機 [繊維機械館]

豊田佐吉が発明した最初の織機から34年の改良の末、完成させた魔法の織機です。

たて糸が切れた瞬間に自動停止する、よこ糸がなくなる直前に動きながら次のよこ糸と自動交換される。からくりでよく使われるリンク機構を巧みに組み合わせた、自動化が多用されており、圧巻です。ぜひ、現物で確認ください。

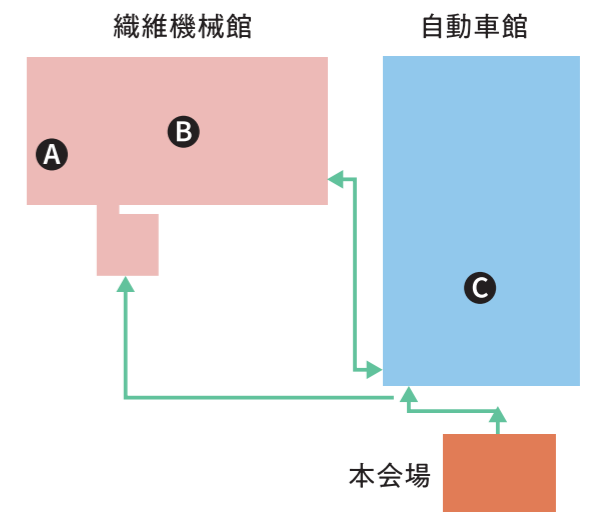
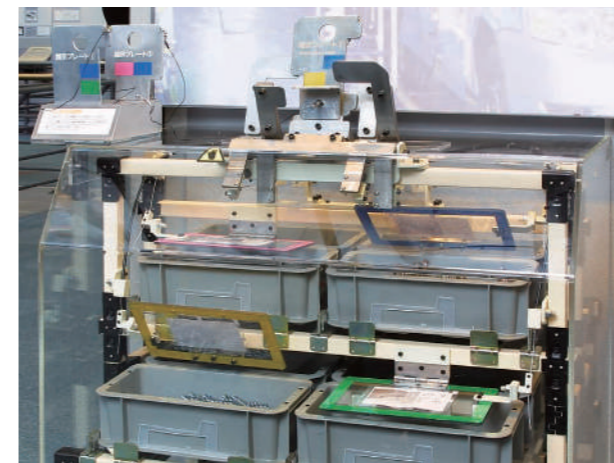


C 部品の取り出し選択装置 [自動車館]

からくりは現在の生産工場でも活用されています。

似たような部品がたくさんある中で、今必要な部品の箱のふただけが開き、部品の取り間違いを防止する装置が展示されています。

糸からくりの現代版応用です。体験型展示になっていますので、ぜひ、触ってみてください。

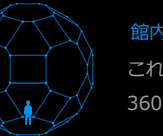


- A ガラ紡機
- B G型自動織機
- C 部品の取り出し装置

館内企画展アーカイブ

バーチャル展示室

THE VIRTUAL
EXHIBITION ROOM 360



館内企画展アーカイブ **バーチャル展示室360** > <http://www.tcmit.org/360virtual/>

これまでにトヨタ産業技術記念館で開催した企画展をご紹介します。デジタルアーカイブです。

360度VRコンテンツで、臨場感溢れるバーチャル展示をお楽しみください。



トヨタ産業技術記念館

当サイトに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。

Copyright(C) Toyota Commemorative Museum of Industry and Technology All rights reserved.